

2-4 えどがわエコセンター

えどがわエコセンターは一人ひとりが環境について学び、行動するために立ち上げた NPO 法人です。区民・事業者、行政や教育機関などが連携・協働して環境からごみ問題、地球温暖化防止活動等あらゆる環境課題に取り組んでいます。

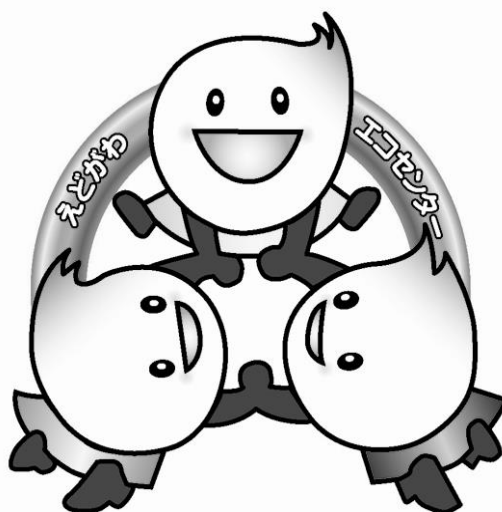
今日の環境問題の多くは、私たち自身のライフスタイルの見直しを抜きには解決しません。そこでえどがわエコセンターでは、「日本一のエコタウン」の実現を目指し「もったいない運動えどがわ」を推進しています。みどりのカーテンの普及や各種講習会・講座の開催など、年間を通じて多くの事業を展開し、いつでもだれでも環境活動の仲間入りができるよう呼びかけています。

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた「もったいない運動えどがわ」の世界へ向けた PR、子どもたちの環境教育の充実なども行っていきます。

そして毎年6月の環境月間に開催される「環境フェア」では、環境をよくする運動中央大会の中で、優れた取り組みをされた事業者・団体・個人の方々を表彰するとともに、屋内外の出展ブースを通して運動の拡大を図っています。

【活動の拠点】

タワーホール船堀（都営線船堀駅前）3階に事務所と多目的ルーム（活動スペース）があります。多目的ルームでは活動のための打ち合わせ、各種教室を開くなど、会員活動の拠点となっています。



環境教育・環境学習の推進

(1) グリーンプラン推進校

えどがわエコセンターと幼稚園・小中学校が協働し、環境学習を推進するモデル校です。

平成 17 年度より、スタートし毎年 10 校（園）程度の参加があります。資材などの経費や各種情報の提供などを支援しています。



(2) すくすくスクール放課後環境教育

「21 世紀子ども放課後環境教育プログラム」などを活用し、すくすくスクールの子どもたちを対象に、ゲームをしながら環境について学んでもらいます。



(3) 小中学校出前授業（総合学習）

総合学習の時間や PTA の集まりなどで、「出前授業」として学校向けの環境プログラムを提供しています。



(4) 人材育成「おきがる環境講座」

平成 16 年度にスタートした「環境学習リーダー養成講座」は、平成 20 年度から「おきがる講座」に名称を変え、地域やエコセンターで活動するための知識やノウハウを基礎から段階的に学べる講座を実施しています。受講生は 2,500 人を超えました。



もったいない運動えどがわの推進

(1) 省エネ・新エネルギーの推進

電力不足が懸念され特に夏季における節電意識が高まっているなか、区民に明るく省エネ・節電に取り組んでもらうため、様々な事業を行っています。

① 省エネ・節電チャレンジ（節電コンテスト）

震災後に高まった節電意識を継続し、やりがいを感じて取り組んでもらうため、夏季期間において一般家庭向けの節電コンテストを実施しています。

② 省エネナビの貸出

家庭における家電の電力使用量を計測できる省エネナビを貸出し、節電の効果を確認することで、電力・省エネ行動の意識向上を図ります。

③ 太陽エネルギー利用講習会

太陽光発電システムの仕組み、取り付けの条件、助成金の申請などについての講習会を各月第二土曜日、えどがわエコセンター多目的ルームで開催しています。

(2) 「みどりのカーテン」の普及

「みどりのカーテン」は、ゴーヤなどのツル性植物で作る自然のカーテンのことです。窓の外に作ることで直射日光を遮り、室温を下げエアコンの使用を控えることができます。

「みどりのカーテン」普及のため、えどがわエコセンターが中心となり「みどりのカーテンモニター」事業を実施しています。平成27年度は、418世帯が「みどりのカーテン」に挑戦し、「みどりのカーテン」を広めるための見本になっていただくとともに、成長の様子をレポートで報告していただき、イベント等で紹介しています。



3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

（１）古布、余り布の活用



古布や布団を作る時に出る余り布を使って、箸袋や布ぞうり、裂き織物、椅子座布団作り等の教室を開いています。捨てられてしまいがちなものに手を加え、新しいものによみがえらせることで、「もったいない」の心を伝えています。

（２）おもちゃの修理

幼いころから物を大切にする心を大切にしてほしいとの願いで、おもちゃの修理を行う「おもちゃの病院」を毎月第二土曜日、多目的ルームにて開院しています。



（３）生ごみ等の活用

篠崎公園 17 号地（篠崎町 8-15）では、家庭からの生ごみや、区立動物園にいる草食動物の糞等を堆肥にして「循環型ハーブガーデン」の運営をしています。

毎年5月の「収穫祭」で活動をPRして、一緒に活動するメンバーを募っています。

豊かな水と緑の保全と活用

(1) 水辺環境調査

えどがわエコセンターは、江戸川や荒川、新中川、新川、葛西沖等の水辺について、生息・分布する生物種を調査し、結果は報告書にまとめるとともに、わかりやすいパンフレットにして区民や学校に活用していただいています。



(2) 自然復元・再生事業

本区は河口に位置するため、大量のごみが河川敷や海岸に漂着します。そこで、えどがわエコセンターは、自然環境団体が行う河川や海岸の清掃活動を支援しています。

また、本区が発見の地であるにもかかわらず区内では絶滅してしまった貴重種「ムジナモ」の家庭での育成活動や、学校等のビオトープ活動に対する情報提供などを行っています。



(3) 自然観察会・えどがわ自然学校（子ども体験教室）

親水公園や河川敷、葛西臨海公園など区内の自然を活用したプログラムによる自然観察会や自然体験を実施しています。

えどがわエコセンターが行う自然環境学習は、自然の変化に敏感になり環境意識を高めることをねらいとして、参加者が見たり触ったりする体験を重視しています。

